

オリジナル「非常用応急給水栓」を市に寄贈

◎水道課 ☎35・2107

8月20日、(株)五光設備(野田)から、災害で断水した際に給水所や給水車で活用できる非常用応急給水栓3基が寄贈されました。

寄贈は、昨年度に続き2度目。同社の五十右大亮代表取締役は「災害時に水に困る人がいなくなれば」と話しました。

この給水栓は、1基あたり8個の蛇口を装備。8月28日に実施された総合防災訓練でも活用されました。



三ツ合町で実施された給水栓を活用した訓練

大井川の拡幅「平成の大改修」完成を祝う

◎建設課 ☎36・7186

牛尾地区を流れる大井川の川幅を広げる「平成の大改修」が完了し、8月25日に完成式典が開かれました。

同工事では、大井川右岸に張り出していた牛尾山を開削。上下流部よりも狭かった川幅を約150m広げること、洪水に対する治水安全度が向上しました。

大井川の大改修は、約400年前の戦国時代末期に行われた「天正の瀬替え」以来。式典には、国土交通省や流域市町の関係者約100人が出席し、20年以上に及ぶ事業の完了を祝いました。



大規模開削した牛尾山を背に記念撮影する関係者

島田市教育環境適正化検討委員会提言書を受理

◎学校教育課 ☎36・7955

9月20日、島田市教育環境適正化検討委員会(委員長・武井敦史静岡大教授)は、今後の市内小中学校再編に関する提言書を、濱田教育長に提出しました。

市では、島田市の教育理念に向けた手立ての一つとして、子どもを最優先にした学校づくりの観点から、同委員会を設置。昨年度から、小中学校の教育環境の適正化について検討・協議を重ねてきました。

今後は、この提言を基にした意見聴取や審議を経て、10月に市としての方向性を決めていく予定です。



濱田教育長に提言書を手渡す武井委員長(左から2人目)

大規模災害を想定した遺体措置訓練を実施

◎危機管理課 ☎36・7143

市は9月16日、大規模災害を想定した遺体措置訓練を、島田市斎場(伊太)で実施しました。市内の関係機関が連携して、防災計画で位置付けられた遺体収容所で訓練を行うのは、初めてとなります。

訓練には、市職員のほか、地元の警察署や医師会・歯科医師会、葬祭業者など約50人が参加。検死・歯牙鑑定・遺体洗浄・所持品記録などの手続きを、人形を使って確認しました。



歯牙鑑定の手続きを確認する参加者